

# 人工知能によるシステム構想力・統合力の強化 ～ものづくりプラス企業の実現に向かって～

日 時： 2016 年 11 月 7 日（月） 13 時 10 分～16 時 50 分  
会 場： キャンパス・イノベーションセンター東京 1F 国際会議室（最寄り駅：JR 田町駅から徒歩約 5 分）  
主 催： 横幹技術協議会、横幹連合  
参 加 費： 横幹技術協議会会員企業の関係者、横幹連合会員学会の正会員、学生は参加無料、  
その他 2,000 円（資料代含む）。当日資料代：1,000 円（希望者のみ）  
参加申込：【事前登録】オンライン申込（[http://www.trasti.jp/cgi-bin/forum\\_1.cgi?step=1](http://www.trasti.jp/cgi-bin/forum_1.cgi?step=1)）

## 【企画趣旨】

IoT、ネットワーク等の ICT の遍在化が、新たな価値を備えた新システム出現の可能性を高めており、このシステムを核とするソリューションの提供が第 4 次産業革命における競争場面になり始めている。この競争を勝ち抜くために、我が国企業が誇るものづくりにプラスするビジネス変革が強く望まれ、企業のシステム構想の立案力・統合力が問われている。

これまでのシステム構想の立案や統合は、限られた人的ネットワークの中で、手作りで取組まれてきた。しかし、情報蓄積や計算力の爆発的増大を背景とした人工知能型のアルゴリズムによって、システム環境を想定する未来洞察（フォーサイト）、システム化対象のモデリング、様々な制約条件の下でのシステムアーキテクチャ探索のプロセス等が大きく変貌を遂げる機会が生まれている。

本フォーラムでは、大学・企業とも連携した国内最大の人工知能研究拠点である（国研）産業技術総合研究所人工知能研究センターの研究リーダーをお迎えし、人工知能研究の進展を俯瞰するとともに、ものづくりプラスに貢献するシステム構想力・統合力の強化施策について議論する。

## 【プログラム】

	(敬称略) 総合司会: 船橋 誠壽(北陸先端大)
13:10-13:15 開会あいさつ	桑原 洋 (横幹技術協議会 会長)
13:15-15:15 ◆ 講演 1 「人工知能技術の進展と今後の可能性」	麻生 英樹 (産業技術総合研究所)
◆ 講演 2 「人と相互理解できる次世代人工知能:生活・サービス分野への 応用と社会実装の課題」	本村 陽一 (産業技術総合研究所)
15:15-15:30 休 憩	
15:30-16:40 ◆ パネル討論 「システム構想立案・統合を強化する人工知能」	上記講演者 山本 里枝子 (富士通研) 加藤 博光(日立製作所)
16:40-16:50 閉会あいさつ	鈴木 久敏 (横幹連合 会長)

## 横 幹 技 術 フォーラム

# 人工 知 能 に よ る シ ス テ ム 構 想 力 ・ 統 合 力 の 強 化

～ も の づ く り プ ラ ス 企 業 の 実 現 に む か っ て ～

2016 年 11 月 7 日 ( 月 ) 13 時 10 分 - 16 時 50 分

### 【 講 演 要 旨 】

( 敬 称 略 )

<b>講演 1</b>	<b>人工 知 能 技 術 の 進 展 と 今 後 の 可 能 性</b>
	◆ 麻 生 英 樹 ( ( 国 研 ) 産 業 技 術 総 合 研 究 所 人 工 知 能 研 究 セ ン タ ー 副 セ ン タ ー 長 ) 人工 知 能 技 術 は 、 大 規 模 デ ー タ か ら 知 識 を 獲 得 す る 機 械 学 習 技 術 と と も に 大 き く 進 展 し 、 社 会 の 様 々 な 分 野 へ の 応 用 が 期 待 さ れ て い る 。 こ の 講 演 で は 、 人 工 知 能 技 術 の 発 展 の 過 程 と 現 状 を 概 観 し 、 今 後 の 研 究 課 題 や 応 用 可 能 性 に つ い て 考 察 す る 。
<b>講演 2</b>	<b>人 と 相 互 理 解 で き る 次 世 代 人 工 知 能 : 生 活 ・ サ ー ビ ス 分 野 へ の 応 用 と 社 会 実 装 の 課 題</b>
	◆ 本 村 陽 一 ( ( 国 研 ) 産 業 技 術 総 合 研 究 所 人 工 知 能 研 究 セ ン タ ー 首 席 研 究 員 ) 人 工 知 能 に 長 年 取 り 組 ん で き た 産 総 研 に お い て 、 人 と 相 互 理 解 で き る 次 世 代 人 工 知 能 研 究 開 発 が 進 め ら れ て い る 。 な か で も 生 活 ・ 社 会 現 象 を 対 象 に し た AI 技 術 、 AI for Human Life で は 、 単 一 の Universal な 解 だ け で なく 、 人 に と っ て の 多 様 な 価 値 を 実 現 す る た め に 確 率 的 モ デ リ ン グ と 共 創 的 ア プ ロ ー チ が 重 要 に な る 。 さ ら に 社 会 課 題 の 解 決 と 産 業 構 造 変 革 を 進 め る た め の 多 業 種 連 携 に よ る 社 会 実 装 の 取 り 組 み も 紹 介 す る 。
<b>パネル 討論</b>	<b>シ ス テ ム 構 想 立 案 ・ 統 合 を 強 化 す る 人 工 知 能</b>
	◆ 討 論 者 : 講 演 者 、 山 本 里 枝 子 ( 株 富 士 通 研 究 所 シ ス テ ム 技 術 研 究 所 所 長 ) 、 加 藤 博 光 ( 株 日 立 製 作 所 研 究 開 発 グ ル ー プ シ ス テ ム イ ノ ベ ー シ ョ ン セ ン タ ー 部 長 ) 未 来 の シ ス テ ム 環 境 を 想 定 す る 未 来 洞 察 ( フ ォ ー サ イ ト ) 、 シ ス テ ム 化 対 象 の モ デ リ ン グ 、 シ ス テ ム ア ー キ テ ク チ ャ の 探 索 な ど 、 シ ス テ ム 構 想 の 立 案 の プ ロ セ ス を 企 業 研 究 者 か ら 例 示 い た だ く と と も に 、 従 来 は 手 作 り で 取 り 組 ま れ て き た こ れ ら の プ ロ セ ス を 、 人 工 知 能 に よ っ て 革 新 す る 方 策 を 検 討 し 、 シ ス テ ム 立 案 に か か わ る 実 務 者 、 シ ス テ ム 科 学 技 術 者 、 人 工 知 能 研 究 者 が と り 組 む べ き 課 題 を 明 ら か に す る 。